


計一千七十萬三千餘圓にて之を前年の輸移入超過を見たり、



徒募集
 生シムヘキ本科第一學
 年生徒若干名募集ス
 月五日
 公立高等女學校
 願者心得要項
 學年ニ入學セシムヘキ
 四月一日ニ於テ年齡十
 五ノ下ニ達シ學費小
 ノ或ハ本年三月末迄
 ノ間ニタルヲ要ス
 願者數集人員ニ超過

ノ如シ
日本歴史及地理、理科。
學校卒業ノ程度ニヨル
ニ達シタルモノニツキ
本校第二學年修了程
試驗ヲ行ヒ之レニ合格
中ヨリ選拔ス
藝術、日本歴史、地理
學、歐羅巴理科、動物
生理(衛生)裁縫
者ハ左ノ書讀ヲ來ル
ニ本校ニ到着スル程度

大正五年一月以後ニ開
ニ限ル
小學校在學者、本學
一學期其他最近
及本年三月末ニ卒業
見込ニツキ當該學
ハ第三學年入學志願者
ハ八九日ニ第一學年入
月十一、十二日ニ行
ハ十記物品攜帶、前者
ハ十日午前九時、後
頭シ係員ノ指揮ヲ俟ツ

選拔試験日、日本歴史及地
理圖、日本語史、和文書
讀解、算術、小刀、辨物

「算術」は幾何、身體検査
にム思者其他傳染性疾
病ハ入學ヲ許可セザル
ルヘシ

登記公告

主人様式會社漢調農
五年正月貳拾一日様式
銀行春川支店支配人小

[illegible]

○規則書及詳細ハ本棧
毒松洞
漱明女子高等學校
寄普通書
興宗興
東京市
其本
其行

送金の方へは、漢有林の五、六、
各五顆宛十錢分を提供仕候。

東洋館
幸町郵便局前
電話五四五番

開金海峡突破か

朝鮮の着陸地研究

二月十四日、開金海峡に飛来する朝鮮飛行機に、日本軍機が追いつき、開金海峡を突破した。朝鮮飛行機は、開金海峡を突破した後、朝鮮半島の着陸地を目指した。日本軍機は、朝鮮飛行機を追いつき、開金海峡を突破した。朝鮮飛行機は、開金海峡を突破した後、朝鮮半島の着陸地を目指した。日本軍機は、朝鮮飛行機を追いつき、開金海峡を突破した。

大飛行演習の目的

大飛行演習の目的は、飛行機の性能を向上させ、飛行士の技術を向上させることである。飛行機の性能を向上させることは、飛行機の速度、高度、航続距離などを向上させることである。飛行士の技術を向上させることは、飛行士の操縦技術、判断力、協調性などを向上させることである。

軍用飛行機の進歩

軍用飛行機の進歩は、飛行機の性能を向上させることである。飛行機の性能を向上させることは、飛行機の速度、高度、航続距離などを向上させることである。飛行機の性能を向上させることは、飛行機の速度、高度、航続距離などを向上させることである。

長距離飛行の進歩

長距離飛行の進歩は、飛行機の性能を向上させることである。飛行機の性能を向上させることは、飛行機の速度、高度、航続距離などを向上させることである。飛行機の性能を向上させることは、飛行機の速度、高度、航続距離などを向上させることである。

朝鮮銀行券偽造犯人

朝鮮銀行券偽造犯人十四名の検挙。朝鮮銀行券偽造犯人十四名の検挙。朝鮮銀行券偽造犯人十四名の検挙。朝鮮銀行券偽造犯人十四名の検挙。朝鮮銀行券偽造犯人十四名の検挙。

墨西司

墨西司の検挙。墨西司の検挙。墨西司の検挙。墨西司の検挙。墨西司の検挙。墨西司の検挙。墨西司の検挙。墨西司の検挙。墨西司の検挙。墨西司の検挙。



東へ東へ

東へ東へ。東へ東へ。東へ東へ。東へ東へ。東へ東へ。東へ東へ。東へ東へ。東へ東へ。東へ東へ。東へ東へ。

東西二十哩

東西二十哩。東西二十哩。東西二十哩。東西二十哩。東西二十哩。東西二十哩。東西二十哩。東西二十哩。東西二十哩。東西二十哩。

紙幣

紙幣の検挙。紙幣の検挙。紙幣の検挙。紙幣の検挙。紙幣の検挙。紙幣の検挙。紙幣の検挙。紙幣の検挙。紙幣の検挙。紙幣の検挙。

熱心誠實に事務を取扱ふ

堀池常作

熱心誠實に事務を取扱ふ。堀池常作。熱心誠實に事務を取扱ふ。堀池常作。熱心誠實に事務を取扱ふ。堀池常作。

第一不動産競賣廣告

第一不動産競賣廣告。第一不動産競賣廣告。第一不動産競賣廣告。第一不動産競賣廣告。第一不動産競賣廣告。第一不動産競賣廣告。

地事務員募集

地事務員募集。地事務員募集。地事務員募集。地事務員募集。地事務員募集。地事務員募集。

岩宮商會

岩宮商會。岩宮商會。岩宮商會。岩宮商會。岩宮商會。岩宮商會。

白鳥井ノ子

白鳥井ノ子。白鳥井ノ子。白鳥井ノ子。白鳥井ノ子。白鳥井ノ子。白鳥井ノ子。

銀行一般業務

銀行一般業務。銀行一般業務。銀行一般業務。銀行一般業務。銀行一般業務。銀行一般業務。

院病化質

院病化質。院病化質。院病化質。院病化質。院病化質。院病化質。

院長醫學博士古城憲治

院長醫學博士古城憲治。院長醫學博士古城憲治。院長醫學博士古城憲治。院長醫學博士古城憲治。院長醫學博士古城憲治。

少雨雪後

少雨雪後。少雨雪後。少雨雪後。少雨雪後。少雨雪後。少雨雪後。

荻田主馬の出馬

だ、さうも如何にも致し方がないな
 萩田様は御一言では、△然うだ仕方
 がない

「お聞きなれ」

▲監獄で雜誌發行 梟鷹監獄では今
 度囚人に雜誌を見せる事となり特に
 編輯したものの六百部を發行した内容
 は宗教的衛生衛生談話等が主なるもの
 ので政治問題と時事問題とは絶対に
 載せない

▲馬鹿で解化せむ 支那では古く
 から馬鹿解化と言ふことがあつたさう

[illegible]

正月早々から縁起でも

分店 大邱 慶州 安東
 所在 金泉 大田 公州
 一冊七十五錢

大邱支店
 大邱軍城義城安東間
 定期乘合郵便馬車
 小荷物運送代金引換
 小荷物物品委託輸入
 荷馬車業開始
 郵更 邑内
 安東

館 有 困 病 子 法 入 配 房 房

御安奉治染五部背腰を距る三丁
間靜下五部難辛宜一遊樂宜上
蒲洲五龍背溫泉

風氣光絶佳にして一大藥園地なり
國産病に持効する理型の療養場なり
御宿泊下宿、自炊、各種の設備あり

米期

定期米賣買の紹介代進店
前金注文は之を要せず
大阪山手北區榮町通河原
大坂東區堂島町中河原
電話北區 六五五

入江商店

馬車營業所
主任 國井定次郎

大邱營業所

錦町(電話五一八番)

御所寄客アングル式片側懷中時計



國産銀表示
正確而獨逸國產
然其實用時
して價格の廉

[illegible]

改訂 増補
 申請書式
 届、印鑑
 委任状、切
 牒、登記
 各書式の
 年五十餘
 地所有者

[illegible]

仁丹
 消化不
 中暑中
 食傷吐
 頭痛目
 仁丹
 仁丹
 丹飲ん下
 丹飲ん下

及イ、所
白貳拾
明川語(一)
雛形等
爲るべ
開業登記
關する中
程度に之
参考書た

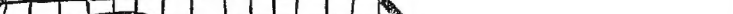
綴を初め對
也行益々盛
堀越龜太郎

痛

色

東
ヤケ、ア
郵便切手
者なるは無
し、御指合
單量
癩症

疼痛
痙攣
痙攣



原料製造
三月七日
力子
中遠路御會
略儀以紙上
尾三
公人一同
電話



貴族院
(七)

七日前午後に及び貴族院豫算審議
を開き、五年度總豫算各特別會計及
追加豫算を議題とし、第一及び
六分科主席あり、大分總論及び結果
報告ありたりし、後日賀田男は國庫
替により、減價基金を増加するは法
上及び豫算の性質上豫算を修正す
きものにして追加豫算として提出
すべしものにあらず、首相の見解如何

其の體は五年豫算の變更に非ざるが、這是單に形式上のことにして

に有るは、鐵道の資金は是を國
は諸國の賤なしと其の答に即
あるは如何、鐵道の資金は是を國
に仰ぐの意見なるや又は獨立經營
方針なるやに付石渡一氏は第二
料の附帶決議たる鐵道出原を一般
の借入に依らざることに付き政
府の所見如何を質し、首相相其之
に答辯して、計畫に移り、目下用
算計畫を暫く中止せしむるを主
したるも少數にて消滅し石渡氏は

大隈首相は從來の鐵道經營費は内債
外債及び一般財源に依りて經營し來

衆議院別報

衆議院第五分科會に於いて市川文
(同志)大澤辰次郎(同志)高橋氏は開
とされる。この粉碎論に關し検査院
報告と本府の答辯に計數差異なる
山反比粉碎機は將來實際に必要な
か豫算目的の解釋に付政府と検査
と見解の異なる點に關し一致を見
す途なきや海峽の土地買収は政
の見込違に非らざるやと質問し兄
政府委員並政府委員より其答
あり(七日夜九時四十五分總府府審電)

四日在北京文武官聯合大會を開きた
化に伴ふ打合せなりと(北)

官聯合大會
此の會合は形勢の變
るが此の會合は形勢の變
るが此の會合は形勢の變
るが此の會合は形勢の變

の蒙王の唱

思遠同地方に向け進發
 癡と政府
 々々猖獗にして竟にコロウ
 臨に苦心中なり（東京電報）

の暴落を來せり是れ伯林政府

皇暴落の原因

●●●●●
るを認知し且つ回く之れ日

腹にさへ趣因と洩す。獨習する
良にて陸がに自家用を辨じ得る少
の探取を爲したるに過ず。故に市街
搬出せらるゝものは皆無の狀に。

◎紀元節と在郷軍人會

京城に在郷軍人會にては来る十一
の紀元節當日午前十一時より一同會
隊司令館前庭に整列し意に東方
威に似て通式を行ふ可しと。

●簡易保險法案及び改正

役一時より仁川商業會議所に於て
社會を開き、賦課收付方法、付屬議
案、引續き賦課率の調査を遂げ、午
三時退散せざるが、何れ兩三日中に
會を開くべし。

●**豫署長恒例會議** 京畿
總務部に於ては京畿府内各憲兵分
長及び各警察署長に恒例會議を今
日午後一時より開催せり。

五、保險者の身體検査を行はず

○**關部事務部長巡閱**
事務部長は、内田、江崎、金澤、永登浦の各警察廳巡閱の爲め眞野謙及在官數名を隨へ約九日間の定にて八日出發す
○**京畿盜竊國稅犯刑者**
京畿道管に於ける最近調査に係る國稅課職者に就て聞くに想同嫌疑者總員十三人あり而して通知履行者五十八人なるが此罰金百四十五圓追徴

● 最近鐵道轉運
二月下旬に於ける鐵道貨物荷動

なりて
 〓 逋行局海員試験 来る二十五日鎮南
 〓 借問海軍出張所に於て臨時船舶職員試験
 〓 の等にて受取手続其他の詳報は又と要行の
 〓 府下紙にあり

銀行發行情 一月三十日より二月五
 〓 日を一週間の銀行券總發行平均高は三三
 〓 三兩五錢四十九にして内平賣額發行高は
 〓 一兩百廿八兩七錢七十七百五十五兩

●左に主要貨物の荷動き状況を
●右に主要貨物の荷動き状況を

しめんか、匪徒復讐去るを忘るべし、午後
過ぎ岡山に著す
岡山、思はず、支局の、松木君に會ひ、且、
今扶桑より同所に來りしは、思はず、岱南行判
に遇たるなり、扶桑の振戦を聞き、松
木と入り代りしに、公州に向ふ、論山驛に
より、露佐佐木藩長に會ひ、
より露佐の、露佐佐木藩長に會ひ、
れる、中西江崎藩長あり、隨興に入らんと

ける稀有の出穀が反動的現象を
せるものなる可しと雖も前年同

ななし、新説となしたる處殊に人口を惹け
江坂は昔も一帯帯水の金北山と相反日し
おもしろ、一帯帯水とは朝か仰に出て、實に小水に
の喧嘩は久しく聞くなりしが、今日に
飲酒したる愚直に輸入せられて、昨日の魔は

南言 閩逸の航空船は此

ウィンスロー社製
 アイススケ
 新荷到着

北大の衛門内へ走せ込んだ▲

支店開
 少不拘御注文の程
 今回販路擴張の爲め

の拂底へ持つて行つて毎日の汽船
は盛談ぢやない實際ひどいよ

▲見よ！時代要求

開明政治家長子山下三郎先生像（醫學士）
少くも産で多
く教育せよと
は本書の主旨と
なり、今主眼と
する研究は既述
の通りである。

●陸軍健兵曹長與虎久登著 ●郵
政省印刷所刊

代用となる
ムラバベントは最新式落
代川なる
城城南門通五丁目一七
崎長
山下コリク

●長身肥満

事になるテナ事を云つて居ると
では露國公債を日本が引き受け

●資本金壹百萬圓・創
●八千代生命保
當社は全國唯一の確實なる非
の相互株式式の收入保
廉なり然して其收長保
に先づ明洋各道長受工

吾人の大に深うざる處なり、
野に菊咲すべし
民地に於てをや。

八千代生命保險株式會社
 京城明治
 京城代理店

に五箇年掛りの面會也、君は江景に相むるに、
 年餘、今は土佐觀察會社江景支店長を務むるに、
 夕陽既に落ちて暮色蒼然として來りて、

A woodblock illustration of a pine branch with a small bird perched on it. The branch is dark and textured, with several needles visible. The bird is small and dark, facing right. The background is white.

實業銀行現金出市元位高膨脹開倉
戰後產物統稅撤廢
對支貿易的穩健
英米比較優越
東京株式會社的解脫
一紙株式列廻り

旬刊

東洋經濟

定價 一圓六十錢 郵費
東京生込天利町
東洋經濟新聞社
振替 東京二五八

社址
放發
東京大坂兩市場上場株式總發行
十一年間每月寄低相違等詳細

株界十年

送附冊錄
定期冊錄
二錢


▲見よ！時代要求の珍書▲
 別冊法律博士藍田三郎先生 醫學博士 東京大学先序
 遺失人 主筆 矢野龍溪 ドクトル 鈴木 誠を主眼
 教育に於て多
 本書の主眼
 なる、今、
 此の研究は既
 に實行時代に入りて成績顯著也是れ世界の風靡せる生活轉救濟子孫繁榮
 に大根本策一讀あれば

長身肥満法
 せの低き人
 本書に
 ば高く
 人玉
 玉其他
 病癒
 する

産兒制限論
 避妊の
 研究版
 金八
 包料
 五十
 十美
 十英
 十

鴨田脩治著

電話 三八八番



 京 城 代 理 店

 八 千 代 生 命 保 險 株 式 會 社

 京 城 明 治 町 三 丁 目 五 番 地

 支 社


 電 話 二 一 三 番

 電 話 二 六 一 番

 最

 中 田

 立 造


 上 醬 油
 本城町三丁目
 支店釀造
 電話六七四番

須藤南翠作

敵を還はず、以て翌に、此處にまた
 た討たるに、若少からず、槍は突き折
 り、刀は鋸となりあるが、聊かも
 怯む色なく、此處に現はれ、彼處に
 隠れ、手揃くも戰ふのであつた。
 此中、毛受久左衛門尉照景は、丹羽
 三軍の物頭村上次郎左衛門と信を
 合ひ、人交せもせず突き合つた。村
 上は新手にして英氣溢れ、當り難きに
 至らば、先頭にける警備で、三軍まで

夕色の影の中に溶けこんでいつて神
 秘室に色彩する。
 癡室は次第に凝まつて行つて咳の
 音もしなかつたをして風だけ折た
 に聞こえてゐた。

肺病の
 全治と奇藥

東京順天堂院長安原先生は自己



全治と奇藥

破り來たつた逆者である。いつ勝敗
 の決すべしとも見えなかつたが、照
 景は流石に被れてゐる。烈しく突つ
 込む村上が笑を、請ひ拒じて臨陣を
 したしかに突かれた。この重傷にも
 屈せずして、猶も槍を合はさうとす
 る。時に、肥後へバタリと倒れた。
 村上遂さうちうと勝つて、其の首を
 打つて、引違さうとする。處に、勝
 助が照をそれと見て、獅子王の墓た
 る如く、日前の兄の遺體はせしめ
 と馳せ向ふ。五十餘人の兵ども、家
 照と一緒にたつて、勢ひ猛に打ちこ
 る。に、村上は援けを、引つ外して引
 き退く。江口、溝江入り代つて、我
 々に此惡しき腫瘍に對し、有ゆる膏藥
 を以て色々な治療して見ても更に効
 がないので悲愴の中、月日を送られ
 つゝありしが、治癒さう又治ることも
 解を根本より治癒さう又治ることも
 信念を以て極力治療し又氏の賢弟
 等専門醫の助けもあり嘗て苦心の末
 發見せられた不思議の特効藥「ウニ
 ールの」奇効と自己獨特の療法に依り
 一時は逆も治らんと思つた難病を遂
 に全快せられたる決心せし同病者から
 同情を蒙られてゐる決心せし同病者
 と云ふものは同病者も聞くに其の
 靈藥「ウニール」を勧める多くの人に應
 用せしに今日遂に全治快癒した人の

病室
仁川
葩村

れ討ち取らるゝ能ひある。皆、勝助賊方を顧みれば、皆、死にして、残るは僅かに十三人、其すら身に大小の手を負はぬはなく、兎は振り落し、其足は引き断れ、總身朱に染みて、死相を帯びぬ者はない。されど、心は金鐵の如く、枯木の如き手に、太刀を取り、一歩も退かじと奮戦し、踏ん込み、進む程に、丹羽が二陣も切り崩された。

病室
仁川 蒿村 紅路

募集短文

感闘狀は既に幾千人だか分らんこの事である此の上氏の希望は世間廣く津々浦々に至るまで不幸にして此病氣で煩悶して居れる患者に自分の全快した方法に知らせ其方法を知られたる事であるから編輯者は彼達に多くの療法に迷はずに東京日本橋區吳服町順天堂藥院長宛へガキにて申込み眼病の治る左記大書冊と有



二二

○呼○咯○發○精○空○營○
下吸痰熱神氣候養
荆吸血痰熱神氣候養
候困不咳盜療疾療
頭難眠嗽汗法法法
痛難眠嗽汗法法法

本年百景、來客著、秀峰、人市、ず、叙す、品の、鮮の、なく、
 記、事、内、容、一、斑、繪、畫、寫、眞、目、次、
 て、の、光、繪、畫、の、本、書、揮、毫、に、著、者、表、題、の、清、可、

[illegible]

本書は著者が朝鮮聯合明治四十三年九月より今年夏に至る迄、五箇年に及り屢々東京京城往來の際に成りたる文章を収輯したるものなり。著者の兩京間を往來するや其の幾回なるかを知らず。而も其の往來毎に感興愈々新鮮にして、其の秀警の觀察と獨特の靈筆を揮つて兩京間の天然と人事を叙するや、雲烟飛動し人物躍如たるもの固より其の所なり。而して記する所單に兩京に止らず、或は途中過眼の光景を記し或は觸目に偶感を叙す。不用意の文字真情流露し、而も簡淨疎宕小品の妙を極む。特に『雲養集を讀む』の一文は朝鮮の碩儒金允植子的人物と文藻を解剖して剩す所なく、『朝鮮統治の要義』は五十頁に亙る長文にし

好天氣
轉化△
指衣聲
通△京
道中△
山より
候△笠
△汽車
より△
含第一
△仁川
周の記
氏の蔵
雨の一
臨人目
案情似
郎△早
千日△

[illegible]

◎海城版◎德榮◎淡の◎版◎版◎獨立◎者◎浦◎子◎下◎伊◎寺◎寺◎
内◎内◎

[illegible]

光焰を
圖は皆
妙あり
冒の爲
毛せら
上り、制
者の文
ス上
題は金
たるも
賞に
請

朝餽納治に對する經綸を吐露して、萬石の揚ぐ如之、平福百穂氏を初め諸書眞の實境に臨んて描く所に係り、咄々眞に逼る。其他各地の風景、名流の筆蹟等悉くに特に撮影し、若しくは著者の爲に特にれたるものにして、凡て三十二葉の多き、裝版印刷俱に異曲同巧の出來榮を呈し、章と對照して興味津々なり。裝釘は總ク製さなし、表紙に朝鮮の古邛を打出し、文字を以て唐太宗書の高尙にして眞に凡上の文字を用ふ。體裁清雅高尚にして眞に凡上堪へたり。今や節新秋に入りて燈火親む幸ひに愛讀を賜へ。

總クロース 上製 函入 定價 金壹圓五十錢
大取次所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

[illegible][illegible]